

住民説明の開催状況について

1.開催日時等

第1回 日時：令和3年7月21日（水）13:30～16:00 場所：明神町二丁目自治会館
第2回 日時：令和3年8月19日（木）18:00～19:40 場所：八王子労政会館

2.参加者

第1回 16名 第2回 11名

3.議題

旭町・明神町地区周辺まちづくり構想の改定に向けた検討状況について

4.配布資料

旭町・明神町地区周辺まちづくり構想の改定に向けた検討状況について
まちづくり構想の改定についての補足資料
まちづくり構想改定検討の進め方・実現に向けた主な取組等（予定）

5.参加者からの主なご意見

旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会について

- ・懇談会参加者に地域住民が入っていないことで地域の意見が反映されていないのではないかと。
- ・今後、知らないところで何かが決まってしまう不安がある。
- ・住民の意見も含めて検討というのであれば、説明の場をまた設けてほしい。

（市の考え）

- ・今回の改定にあたっては、現行のまちづくり構想を土台としつつ、東京都が示しているまちづくりに関する新たな視点も踏まえて、広域的・専門的な検討を行う必要があるため、学識経験者・地元経済団体等代表者・まちづくり事業者が参加する「まちづくり懇談会」での意見をいただきながら、検討をしています。
- ・説明会で地域住民の皆様からいただいたご意見は懇談会へ報告し、今後の議論の参考にさせていただきます。
- ・また、地域住民の皆様を含めた市民意見は、今後も説明会やパブリックコメントにおいて伺いする予定です。

旭町・明神町地区周辺まちづくり構想について

- ・このタイミングで構想を改定する理由が分からない。
- ・まちづくり構想の改定は、多摩産業交流センターの開設が契機だと思うが、利用者数のデータもない中で、どんな街になるか想像することは難しい。利用者等のデータが出た後に改定しても良いと考える。
- ・現行の生活利便複合ゾーンの範囲の一部を、別のゾーンへ変更する理由の説明が理解できない。
- ・目標達成のためであればゾーン変更も理解できるが、現行の生活利便複合ゾーンから新しいゾーンに変更することで目標が達成できるのか疑問である。
- ・これまでのまちづくり懇談会の議事録をホームページで確認したが、該当部分のゾーンの変更を希望する意見はなかった。

- ・まちづくり構想が改定されることで、自動的に都市計画変更（商業地区に用途変更）され、固定資産税が上がるのではないかと不安がある。
- ・多摩産業交流センターの整備やその周辺の道路整備が進んでおり、街のステータスが上がるので、街の価値の向上に合わせて構想を変えていく、というような説明もできるのではないかと。

（市の考え）

- ・現在、旭町・明神町地区では、多摩産業交流センターの建設が進められており、令和4年度に開設が予定されています。
- ・また、市では、周辺道路の無電柱化事業や隣接する地区の権利者の皆様とともに市街地再開発事業に向けた検討も進めており、これから旭町・明神町地区が大きく変化していきます。
- ・加えて、まちづくり構想は、策定から10年が経過していること、この間に市の上位関連計画の改定や東京都の新たなまちづくりの方向性が示されました。
- ・こうした機会を捉えて、「旭町・明神町地区」のまちづくりを更に推進していくため、構想を改定するものです。
- ・今回のまちづくり構想の改定では、まちづくりのコンセプトや目標の見直しと、その実現に向けた土地利用や道路などの都市基盤整備の方針の見直しを行っています。
- ・このうち、土地利用の方針におけるゾーニングの見直しは、JR八王子駅・京王八王子駅に近接する地区の立地・特性を最大限活かせるように、駅とその周辺街区が一体となった都市空間を形成していくことで、地区全体の価値をより一層向上させ、この地区からまちづくりの好影響を中心市街地全体へ広く波及させていくことを目的としています。
- ・まちづくり構想は市の考えを皆様にお示しするもので、構想の改定だけで都市計画が変更されることはありません。今後、都市計画を変更する場合は、法令に基づく公聴会（説明会）などを通じて、皆様のご意見を伺いながら進めます。

- ・まちづくり構想を改定する上で、市側はメリット・デメリットを整理していただきたい。説明会では、市側のメリットしか伝わらない。

（市の考え）

- ・まちづくり構想に基づき道路や広場整備などの具体的な事業を展開することは、ここに居住する方に限らず、多くの市民の方や来訪者にとってもメリットになると考えています。
- ・事業を展開する中で、工事により一定期間、ご不便をおかけすることは、デメリットの一つと捉えています。
- ・中心市街地を盛り上げるまちづくりを進めていく中で、個々の立場によってメリット・デメリットは異なると考えております。今後検討や事業を進めていく中で、地域住民の皆様をはじめ、市民の皆様の声を聴きながらデメリットを小さくしていくように努めます。